

## アクティブ・ラーニングと成果の可視化による 理工学人材育成 AP シンポジウムを 12 月 17 日(土)に開催 ～4 つの理工系大学が一堂に集う～

芝浦工業大学(東京都港区/学長 村上雅人)は、12月17日(土)に芝浦キャンパスにおいて、アクティブ・ラーニングと成果の可視化による理工学人材育成に関する、「芝浦工業大学 2016 年度 AP シンポジウム」を開催します。

芝浦工業大学では、建学の精神「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」のもとに、「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材」の育成を教育目標として定め、学生の主体的な学びを促し、学修成果の可視化を目指すためのさまざまな取り組みを行っています。

今回のシンポジウムでは、文部科学省の平成 26 年度「大学教育再生加速プログラム(AP)」採択を受け、同じく採択校の東京電機大学や金沢工業大学、福岡工業大学を招き、各大学が取り組んでいる事例の報告や、それをもとにした議論、意見交換により、理工学人材育成に資する教育改革の加速に役立つ情報を共有します。



教員・職員・学生が協働して  
eポートフォリオなどの  
改善に取り組む様子  
(AP 事業の例)

日時：2016年12月17日(土) 14:00～17:00 ※入場無料

場所：芝浦工業大学 芝浦キャンパス 8階 802 教室

詳細・申込：<http://www.shibaura-it.ac.jp/event/2016/80160025.html>

共催：理工学教育共同利用拠点

1. 基調講演 (14:05～14:30) 「大学教育再生加速プログラム (AP) 「高大接続改革推進事業」について」  
文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 改革支援第二係長 河本 達毅 氏
2. 芝浦工業大学の AP 取組み報告 (14:30～15:00) ※テーマ I・II 複合型選定  
学長補佐、教育イノベーション推進センター IR 部門長、システム理工学部 井上 雅裕 教授
3. 金沢工業大学の AP 取組み報告 (15:10～15:25) ※テーマ I・II 複合型選定  
修学基礎教育課程 青木 隆 教授
4. 東京電機大学の AP 取組み報告 (15:25～15:40) ※テーマ I・II 複合型選定  
教育改善推進室副室長、未来科学部 汐月 哲夫 教授
5. 福岡工業大学の AP 取組み報告 (15:40～15:55) ※テーマ I 選定  
教務部長、工学部電気工学科 松尾 敬二 教授
6. パネルディスカッション「人材育成に役立つ実践事例とその課題」(16:00～17:00)  
パネラー 金沢工業大学 青木 隆 教授、東京電機大学 汐月 哲夫 教授、福岡工業大学 松尾 敬二 教授  
芝浦工業大学 長谷川 浩志 教授 (教育イノベーション推進センターキャリア教育部門長)  
モデレーター 芝浦工業大学 米田 隆志 副学長 (教育イノベーション推進センター長)

■ 芝浦工業大学 大学教育再生加速プログラム (AP) の取組み概要 ■

[http://www.shibaura-it.ac.jp/about/good\\_practice/programs/ap\\_01\\_2014.html](http://www.shibaura-it.ac.jp/about/good_practice/programs/ap_01_2014.html)

この件に関するお問い合わせ・取材については下記までお願い致します。

発信元：芝浦工業大学 経営企画部 企画広報課 担当：豊田 〒108-8548 東京都港区芝浦 3-9-14  
TEL：03-6722-2900 FAX：03-6722-2901 E-mail：[koho@ow.shibaura-it.ac.jp](mailto:koho@ow.shibaura-it.ac.jp)

文部科学省「大学教育再生加速プログラム」平成26年度テーマⅠ・Ⅱ複合型 選定

文部科学大臣認定「理工学教育共同利用拠点」教育イノベーション推進センター  
平成28年度 教育関係共同利用拠点(大学の教職員の組織的な研修等の実施機関)

入場  
無料

芝浦工業大学 2016年度APシンポジウム

# アクティブ・ラーニングによる 理工学人材育成と 成果の可視化

## 課題と実践事例

2016.12.17 土 14:00  
17:00

会場 芝浦工業大学 | 東京都港区  
芝浦3-9-14  
芝浦キャンパス 8F 802教室(情報交換会 芝浦キャンパス7F 校友倶楽部)

社会で求められる理工学人材の育成のために大学  
が実施すべき教育改革に関し、大学教育再生加速  
プログラム(AP)事業の取り組み事例を元に議論、  
意見交換することにより、理工系人材育成に資する  
教育改革の加速に役立つ情報を共有します。

### PROGRAM

開会挨拶 学長 村上 雅人

#### 基調講演

「大学教育再生加速プログラム(AP)「高大接続改革推進事業」について」

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 改革支援第二係長 河本 達毅 氏

#### 芝浦工業大学のAP取組み報告

井上 雅裕 教授(学長補佐、教育イノベーション推進センター IR部門長、システム理工学部 教授)

#### 各大学のAP取組み紹介

金沢工業大学 青木 隆 教授(修学基礎教育課程)

東京電機大学 汐月 哲夫 教授(教育改善推進室副室長、未来科学部)

福岡工業大学 松尾 敬二 教授(教務部長、工学部電気工学科)

#### パネルディスカッション

「人材育成に役立つ実践事例とその課題」

パネラー 金沢工業大学 青木 隆 教授

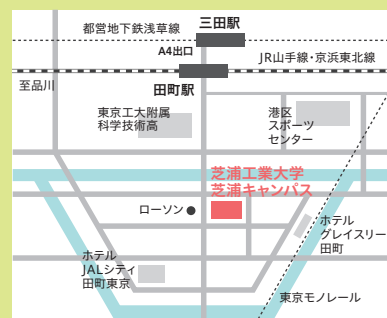
東京電機大学 汐月 哲夫 教授

福岡工業大学 松尾 敬二 教授

芝浦工業大学 長谷川 浩志 教授(教育イノベーション推進センターキャリア教育部門長、システム理工学部)

モデレーター 米田 隆志 副学長、教育イノベーション推進センター長

### ACCESS



JR山手線・京浜東北線田町駅芝浦口より徒歩3分  
都営地下鉄三田線A4出口より徒歩5分

キャンパス内に駐車場がございませんので、  
お車でのご来場はご遠慮ください。

主催 芝浦工業大学

お問い合わせ先

芝浦工業大学 豊洲学事部 大学企画課

E-mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

Acceleration Program  
大学教育再生加速プログラム

▶ 右記URLからお申し込みください。 <https://fs223.formasp.jp/h777/form8/>



芝浦工業大学  
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

## プログラム

14:00 開会挨拶 学長 村上 雅人

14:05-14:30 基調講演  
「大学教育再生加速プログラム(AP)「高大接続改革推進事業」について」  
文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 改革支援第二係長 河本 達毅 氏

14:30-15:00 芝浦工業大学のAP取組み報告  
芝浦工業大学 井上 雅裕 (学長補佐、教育イノベーション推進センター IR部門長、システム理工学部教授)  
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング)・Ⅱ(学修成果の可視化) 複合型選定

### 取組概要

建学の理念の下、学生の主体的な学びを促し、学修成果の可視化の為に取組を行う。  
学長をリーダーとする教職学(学生)協働の組織的な体制のもとで、体系的なアクティブラーニング(AL)の改革、学修成果の可視化と学修時間の保証、教育改革の推進体制の強化を実現する。

### 各大学のAP取組み紹介

15:10-15:25 金沢工業大学 修学基礎教育課程 青木 隆 教授  
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング)・Ⅱ(学修成果の可視化) 複合型選定

### 取組概要

更なる学生の能動的な学修の促進と学修意欲向上を目指すために、正課と正課外の学修を密接に連動させ、「チームで取り組む問題発見・問題解決型教育」を基盤とした全学的なアクティブ・ラーニングを展開し、正課と正課外の活動を可視化しながら、学生の能動的な学びの場としてのアクティブでオープンなキャンパスを形成する。

15:25-15:40 東京電機大学 教育改善推進室副室長、未来科学部 汐月 哲夫 教授  
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング)・Ⅱ(学修成果の可視化) 複合型選定

### 取組概要

本事業は、東京電機大学がこれまで構築してきたPDCAの教育枠組をベースに、「技術で社会に貢献する技術者」に必須の知識・能力を修得させる教育体制構築のため、下記4点に注力して実施するもので、未来科学部の活動を基とし、成果を全学に普及させるものである。  
1.(教育枠組1) PDCAサイクル実質化のため、汎用的能力の評価ができるルーブリックを、米国VALUEルーブリックを参考に開発・普及  
2.(教育枠組2) 授業外学修時間増加のための反転授業導入とその運用手法の開発・普及  
3.(教育内容) 教育目標の知識・能力を学生に効果的に修得させられるPBLおよびアクティブ・ラーニング手法の開発・普及  
4.(教員教育力) 教員教育力向上のための教員評価制度の構築

15:40-15:55 福岡工業大学 教務部長、工学部電気工学科 松尾 敬二 教授  
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング) 選定

### 取組概要

本事業は、福岡工業大学の人材育成目標(「自律的に考え、行動し、様々な分野で創造性を発揮できるような人材(実践型人材)の育成」)を達成するため、大学の教育改革のフレームに「教授方法の質的転換」を加え、その具体的方策としてアクティブ・ラーニングの全学的展開を推進、学生の「知識定着」と「能動的な学修態度の涵養」の実現を図ろうとする取組である。

16:00-17:00 パネルディスカッション  
「人材育成に役立つ実践事例とその課題」  
パネラー 金沢工業大学 青木 隆 教授、東京電機大学 汐月 哲夫 教授、福岡工業大学 松尾 敬二 教授、  
芝浦工業大学 長谷川 浩志 (教育イノベーション推進センターキャリア教育部門長、システム理工学部 教授)  
モデレーター 副学長 米田 隆志 (教育イノベーション推進センター長)

17:00 閉会挨拶 副学長 守田 優

17:10- 情報交換会 (会費2,000円)

進行 坂井 直道 (教育イノベーション推進センター教授)

## 会場までのACCESS

### 電車利用の場合



### 羽田空港からの場合

